

(科目コード : 2000920072Y2)

【改訂】第31版(2013-03-18)

【科目】歴史

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】2組 2年

【担当教員】前期:宮川 剛
後期:宮川 剛

【授業目標】

- ・現代世界の歴史的背景を学習することにより、現代の世界情勢についての理解を深める。
- ・世界の国々の文化・社会の背景を学ぶことにより、国際人としての教養・常識を身につける。

【教育方針・授業概要】

- ・指定のテキストを用いて、主に近代以降の世界史に重点を置いて授業を進める。
- ・講義を通じて、基本的な歴史的事実を理解する。
- ・講義の内容に関する討論・質疑応答を通じて、時代背景への理解を深める。
- ・授業中配布する資料や参考図書を読み込むことで、授業で取り上げるそれぞれの時代と現代世界との関わりを把握し、現代世界の諸問題の歴史的背景を理解する。
- ・レポートの作成などを通じて、自らの考えを論理的に表現する訓練をおこなう。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:世界史B:東京書籍

資料集:グローバルワイド最新世界史図表・新版:第一学習社

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式でおこなう。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:20%,期末試験:20%,課題など:10%

[後期]中間試験:20%,期末試験:20%,課題など:10%

【授業計画】(歴史)

| 回数 | 授業の主題 | 内容 | レポート | 宿題 |
|--------|---------------|---|------|----|
| 1回 | イントロダクション | 近代世界史概観。 | | |
| 2~4回 | 近代社会の成立 | ・産業革命による工業社会の幕開け。 ・19世紀における自由主義とナショナリズムの高まり。 | | |
| 5~7回 | 帝国主義の時代 | ・第二次産業革命。 ・帝国主義の成立。 ・アジアやアフリカにおける植民地化の動き。 | | |
| 8~11回 | 第一次世界大戦とロシア革命 | ・第一次世界大戦勃発の背景。 ・第一次世界大戦の影響。 ・ロシア革命。 | | |
| 12~15回 | 戦間期の世界 | ・ヴェルサイユ体制の成立。 ・大戦後の合衆国とヨーロッパ。 ・アジアの民族独立運動。 ・世界恐慌とファシズムの台頭。 | | |
| 16~20回 | 第二次世界大戦 | ・第二次世界大戦の勃発。 ・第二次世界大戦下の諸地域。 ・大戦の終結と戦後構想。 | | |
| 21~25回 | 戦後世界と東西対立 | ・国際連合の成立と戦後処理。 ・米ソの対立とヨーロッパの分裂。 ・アジア・アフリカの独立運動。 ・アメリカとヴェトナム戦争。 | | |
| 26~30回 | 現代の世界 | ・緊張緩和と国際関係の変化。 ・世界経済の変容と南北問題。 ・社会主義圏の解体と地域の再編。 | | |